

## 令和6年度(第30期) にいがた市民大学前期講座プログラム(案)一覧(コース順)

No.	コース名 (仮)	講座名	趣 旨	主な受講対象者 (世代など)	提案者
1	現代の社会問題	少子高齢化時代に対応した地域活性化の方法を考える	日本全体で少子高齢化が進展する中、新潟県の高齢化率は全国平均29.1%を上回る33.7%である。新潟市の平均は30.4%であるものの、27.5%(中央区)～35.4%(西蒲区)と幅があり、新潟市の面積(726キロ平米)は東京23区(628キロ平米)を上回る広さであることを考えると格差があることも不思議ではない。その意味では新潟市住民の中でも少子高齢化に対する危機意識の高い人達は一定割合存在すると考えられ、そうした人達が自分自身のため(自助)だけでなく、地域への貢献(共助)として自ら行動できるきっかけを作るような講座の提供は有用と考える。 高齢者の地域活動というボランティア活動などが一般的であるが、そうした方法や具体的な内容も伝える。最近では「コミュニティスクール構想」など、教育の場を学校に限定するのではなく、地域住民と子供達との交流を活性化することも文部科学省より推奨されている。さらには、経験と人脈を生かした起業家という選択肢もあるなど、自らの生き方と地域の在り方をあわせて考えられるような講座を提供したい。	受講者は新たな知識を得ることについて意欲の高い人達が多いと推測されるが、それだけでなく「地域への還元」の意欲も一定程度あることが受講者アンケートから推測される。主な受講対象者は60代以上と想定するが、プログラム構成次第では「定年後に前に何かしたい」と考える50代にも関心を持ってもらえると期待する。	富永委員
2	現代の社会問題	ライフプラン実現のための金融リテラシー	金融リテラシーとは「金融や経済に関する知識や判断力」のことです。最低限身に付けておきたい金融リテラシーの内容として、「家計管理」「生活設計」「金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の利用選択」「外部の知見の適切な活用」の4分野があります。ライフプラン実現のために、お金との上手な付き合い方を探りましょう。	全世代	中村(恵)委員
3	現代の社会問題 生命・自然科学	グリーントランスフォーメーションとは何か	「GX」とは Green Transformationの略称で、経済産業省が提唱する脱炭素社会に向けた取り組みを指します。GXはカーボンニュートラル(温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること)実現のため、地球温暖化による気候変動や異常気象の加速を抑えることを目的としています。 経済産業省はカーボンニュートラルの実現を2050年までの目標としています。 GXは環境問題の課題解決だけでなくとどまらず、取り組みを進める中で社会を変えていくという、カーボンニュートラルを包括した持続可能な未来への成長戦略と捉えることができます。 新潟市のカーボンニュートラル実現への対応策について「知る」・新潟市のCO2排出量等を「把握する」・CO2排出量等を「削減する」という3つの段階での実情や世界の取り組みの現状等を学びます。	学生をはじめ全世代 現代の若者は環境問題に対する意識が高く、カーボンニュートラル実現に取り組んでいる企業に対する評価も高い。  <a href="https://schoo.jp/biz/column/1491">https://schoo.jp/biz/column/1491</a>	中村(美)委員
4	現代の社会問題	コロナ禍は世界をどう変えたのか?	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)によるパンデミックを経験し、各国の政治や経済、社会は何が変わり、何が変わらなかったのだろうか。本講座では、命と経済のいずれを優先するのか、その両立は可能なのかという問題を軸に、日本を含む各国政府のコロナ対応を検証する。具体的には、各国政府の政策とそれに対する国民の反応、それがどのような結果を招いたのか、国ごとにどのような違いが生じたのかを、各国の専門家が解説する。 日本以外にどの国を取り上げるかについては、受講生の関心の高い地域(東アジア・東南アジア諸国?)や、主要先進国だけでなく報道されることの少ない国々など、他の運営委員の意見を伺いながら絞り込みたい。	国際情勢や現代の社会問題に関心を持つ一般の方々	山田委員

## 令和6年度(第30期) にいがた市民大学前期講座プログラム(案)一覧(コース順)

No.	コース名 (仮)	講座名	趣 旨	主な受講対象者 (世代など)	提案者
5	現代の社会問題	グローバル化する独裁	2022年時点で世界の89カ国が独裁(権威主義)体制とみなされており、世界人口の72%がそこに暮らしている。独裁体制と聞くと強権的で剥き出しの暴力を組織する専制というイメージが強いと思われるが、むしろ最近では民主的な政治制度や法律を巧みに利用した統治を行う国々が増えている。 こうした国々はどのような行動原理や統治の仕組みをもつのだろうか。本講座では、民主主義体制に比べて学ぶ機会の少ない独裁体制の基礎を、世界的な潮流と各国の具体的な事例とともに学ぶ。取り上げる国々は、新潟とも関わり深いロシアや中国、北朝鮮のほか、ベトナムやミャンマー、タイなど、受講者の関心が比較的高いと思われる東南アジア諸国を想定している。	政治や国際情勢(とくにアジア)に関心を持つ一般の方々	山田委員
6	新潟学	新潟・古町花街の芸と粋～古町芸妓を学ぶ	約200年の伝統を誇る新潟古町芸妓。湊町新潟が誇る文化を長く受け継ぐべく、その発祥から株式会社化された現在までの歴史、振袖さんと留袖さんの違い、芸妓さんの一日、お座敷唄やお座敷遊びについて、日本舞踊市山流について、動画などをみながら実際にお座敷で芸妓さんとどんなふうにご一緒するのか、などを学び、理解を深める。	できれば若い方や女性に聞いてほしいが年配になりそうか…?	霜鳥委員
7	新潟学	もっと知りたい! 新潟の「酒」	新潟=日本酒のイメージだが、全国第一号地ビール誕生の地だったり、全国的にも注目を集めるワイナリーリゾートがあったり、異業種参入でウイスキー醸造を始める企業があったりと、日本酒以外の酒でも十分アピールできる土地だと思う。また近年「クラフトサケ」の製造も開始され注目を集めている。それぞれの酒の魅力や新潟という土地とのかかわり、そしてこれからの展望などを、作り手や研究者などから聞き、知識を深める。 想定コーディネーターは新潟大学日本酒学センターの渡辺英雄先生です。	若い世代から年配の方までお酒が好きな人	霜鳥委員
8	新潟学	日本酒学 Part2	市民大学でも好評であった「日本酒学」のPart2となる講座である。県内酒蔵では新たなマーケットの開拓、新商品の開発、酒蔵見学やイベント等にも力を入れ、新潟県の代表する産業と成長している。新潟大学の日本酒学センターの協力を得ながら、日本酒を軸とした地域文化について専門家から論じてもらう。講座内容は、日本酒に関するマーケティング戦略、原材料や醸造技術の側面から、日本酒の歴史、日本酒の海外進出、酒蔵建築等で講座を組み立ててゆく。		橋本委員

## 令和6年度(第30期) にいがた市民大学前期講座プログラム(案)一覧(コース順)

No.	コース名 (仮)	講座名	趣 旨	主な受講対象者 (世代など)	提案者
9	新潟学	地域連携で築くアートプロジェクト	新潟県は、代表的なアートプロジェクト「大地の芸術祭」の開催地である。その他、近年では様々な仕掛けを持ったアートプロジェクトや地域活性を目的とした表現活動を有する事業が行われている。本講座では市内で活動してる諸団体の方々や、県外で特色を持ったアートプロジェクトを企画しているの方々をお呼びして、アートプロジェクトの意義や地域との関係性を論じてもらう。コーディネーターは、水と土の芸術祭のキュレーション、新潟大学旭町学術資料展示館館長の丹治嘉彦氏にお願いしたい。		橋本委員
10	新潟学	マンガ・アニメ文化と新潟	新潟は数多くのマンガ家・アニメクリエイターを輩出しており、マンガ・アニメ情報館やマンガの家などの設置を始めとして、マンガ・アニメ関連の統合的大規模イベント『がたふえす』も10年以上の歴史を持つものとして広く知られている。行政でも「新潟市マンガ・アニメを活用したまちづくり構想」を2012年に発出し、現在は第2期(2024年3月まで)でもあり、産学官の連携を推進している。実務家育成のための専門学校・大学の教員(多くが実際に制作に関わった方々)などを講師とするもののほか、映像文化論を専門としてアニメを研究対象とする研究者(石田美紀教授、新潟大学アジア連携研究センター長)などにも協力いただきたい。最近話題になっている、アニメを精神疾患などの治療に活用しようという動きなども紹介できれば良いと思う。	にいがた市民大学の受講者の新たな掘り起こしとして20代～30代を狙いつつ、各授業回では昔人気だったマンガ・アニメ・映画の製作に携わった日方々を講師とすることにより、40代～50代の参加者拡大にもつなげる。	富永委員
11	新潟学	郷土料理からみる新潟	新潟の代表的な家庭料理である「のっぺ」や、保存食として戦国時代からはじまったといわれる新潟を代表する「笹団子」など、新潟にはさまざまな郷土料理があります。信濃川と阿賀野川の2大川があり、夏の高湿多湿な気候で、お米の一大産地として知られる自然豊かな新潟を、郷土料理から再発見しましょう。	全世代	中村(恵)委員
12	新潟学	新潟とイザベラ・バードの旅(新潟県内外編)	明治11年(1878)横浜・東京・日光・会津・新潟・山形・秋田・青森・北海道と旅したイギリスの女流旅行家、イザベラ・バードの足取りを、日光・会津・新潟・山形の案内人によってリレー方式で紹介します。(新潟イザベラ・バード研究会がナビゲート)	イザベラバードに興味のある人々、観光関係者	野内委員
13	新潟学 生命・自然科学	ウォーカブルな新潟を楽しむ準備を始めよう	2時間くらいのお散歩が楽しくできるための準備を考える。 【内容】 ・新潟の地名と地形 ・多様な移動手段で歩こう(次世代型電動車いす体験) ・理学療法士から学ぶ足と靴 あなたの悩み 歩き方・選び方 ・介護のプロから学ぶ車いす介助のコツ、杖の選び方・使い方 ・障がい者と出会うことが楽しくなるために(障がい者の実像) ・こころを受け止めるひとたち 多様性を支えるひとたち ・美味しいものとの出会い ～ 笹団子について語れる人になる	学生 中高年者	中村(美)委員

## 令和6年度(第30期) にいがた市民大学前期講座プログラム(案)一覧(コース順)

No.	コース名 (仮)	講座名	趣 旨	主な受講対象者 (世代など)	提案者
14	生命・自然科学	生成AI×メタバース で広がる世界	質問に応じて文章を綴ったり、指示に従って絵を描いたりする「ChatGPT」に代表される「生成系AI」。インターネット上に作られた仮想空間で、複数の人が入り込み、他の参加者と交流できる「メタバース」。AIとメタバースを融合させることで、現実世界では難しかった活動をしたり、ビジネスチャンスを生み出したりすることが想定されます。生成AIとメタバースは相性がよく日常生活や仕事での新しい可能性を探りましょう。	全世代	中村(恵) 委員
15	生命・自然科学	日常生活の中のAI: 付き合い方講座	私達の日常生活の中で人工知能が身近になり、その存在に気づかないことも多いほどである。最近ではChat-GPT 4など、一般市民にもほぼ無料で使用できるものが登場し、注目を浴びている。本講座ではAIとは何か、どのような使い道が現在あり、今後どのように変わっていくのか、私達はどのようにAIを使えば良いのかを学ぶ。総論、各論、合わせて5～6回程度。新潟大学工学部の教官など、を想定する。	高校生、大学生、現役世代、中高年も広く対象となる	成田 委員
16	生命・自然科学	みんなの健康スポーツ 実践講座	少子高齢化社会の中で、競技志向から健康スポーツの重要性が認識されてきた。しかし日常生活の中で運動を習慣づけ万人が健康スポーツを実践するまでには至っていない。学業・仕事や社会との関わりによる時間的制約、慢性疾患や障害、家族の世話や介護のため、などなど様々な制約の中で、どのように健康スポーツを実践するのか、具体的に考える機会とする。総論、各論合わせて5～6講座、新潟大学、新潟医療福祉大学、県スポーツ協会、健康づくり課などから講師を招く	現役世代(40～60台)、高齢者	成田 委員